

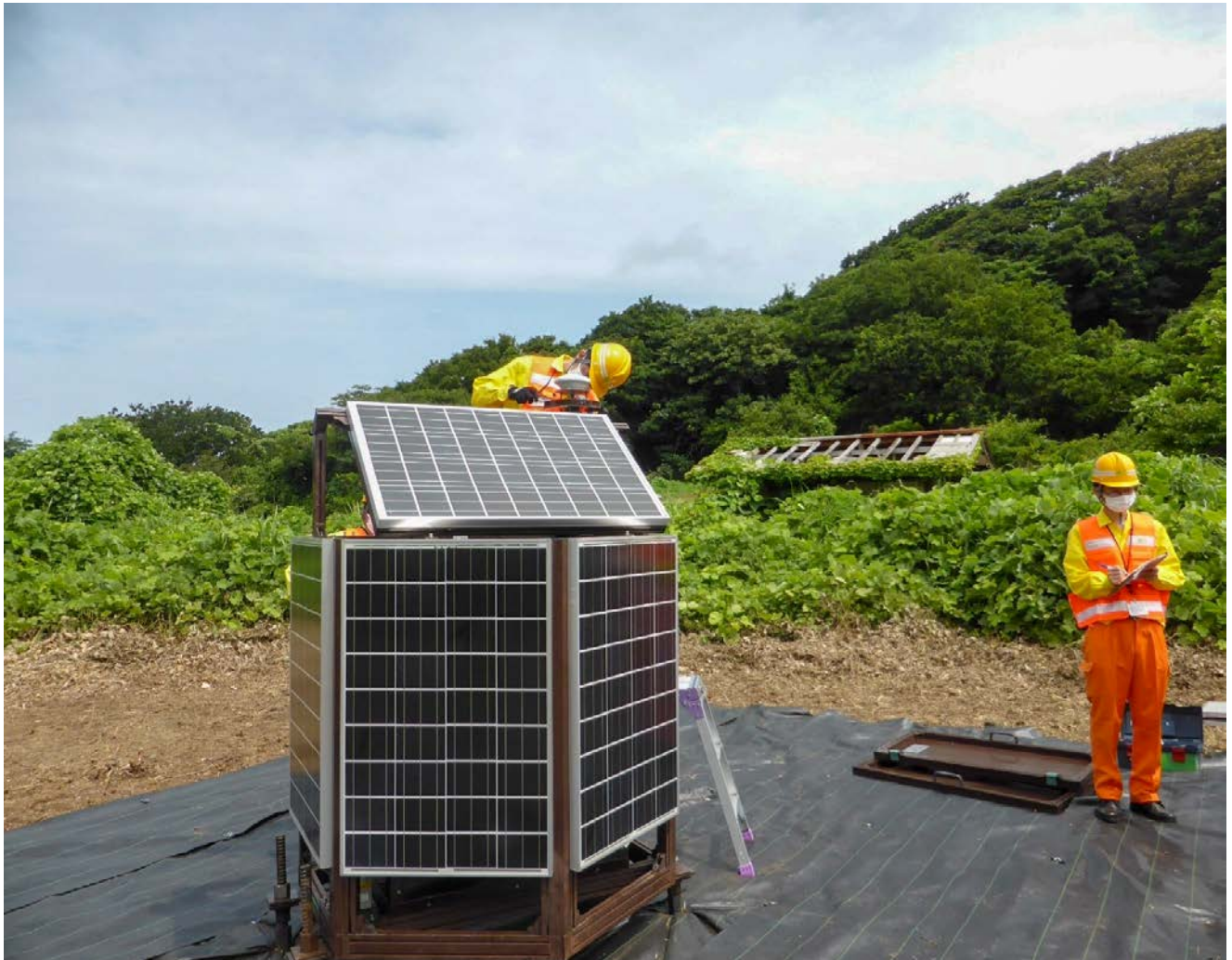


国土交通省  
国土地理院

# 国土地理院広報

2022年9月発行

第651号



能登地方に可搬型GNSS連続観測装置「REGMOS（レグモス）」を設置

## CONTENTS

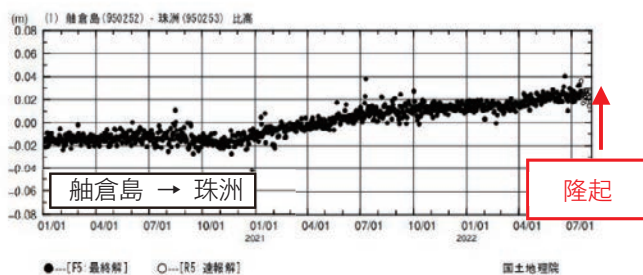
1. 石川県能登地方で地殻変動観測を強化 ..... 2
2. UN-GGIM第12回会合への参加報告 ..... 3
3. 「測量の日」関連行事を実施  
  - 「富山県広域消防防災センタージュニア防災フェスティバル」に参加 ..... 4
4. 「自然災害伝承碑」のウェブ地図「地理院地図」公開数 ..... 5
5. 8月の報道発表・10月の主な行事予定 ..... 5

国土地理院は、新型コロナウイルス感染拡大防止をはかるため、制限を設けたイベント等の開催、テレワークの活用等による人との接触を低減する取り組みを実施しています。

## 石川県能登地方で地殻変動観測を強化

7月20日と21日に可搬型GNSS<sup>※</sup>連続観測装置「REGMOS（レグモス）」を、新たに石川県珠洲市に2基設置しました。これにより、石川県能登地方で継続している地殻変動をより詳細に把握することが可能になり、地殻変動を発生させている原因の解明に貢献します。

国土地理院では全国約1300点の電子基準点で、国土の地殻変動を日々観測しています。2020年12月頃から石川県能登地方で活発な地震活動が継続しており、これまでに電子基準点「珠洲」で累積約4cmの隆起等の地殻変動が確認されています。



可搬型GNSS連続観測装置「REGMOS」とは、太陽電池パネルや衛星携帯電話を搭載し、電源がない場所や携帯電話の電波が圏外の場所であっても、地殻変動の観測やデータ通信を行うことができる装置です。REGMOSは、分解して自動車1台で輸送することが可能で、地殻変動が活発な地域に機動的に設置し、電子基準点を補完することでより詳細な地殻変動を把握することが可能です。



設置場所

国土地理院では、7月20日に珠洲市<sup>ささなみ</sup>笹波町に、7月21日に珠洲市<sup>のろし</sup>狼煙町に1基ずつREGMOSを設置しました。このうち狼煙町の設置作業には、北陸地方の新聞社や放送局など多くの報道機関が取材に訪れ、地元における関心の高さがうかがえました。



笹波町(左)、狼煙町(右)のREGMOS

REGMOSによる観測は設置直後から行われ、7月29日から電子基準点データ提供サービスにおいて、このREGMOS2基の観測データが公開されています。REGMOSによる地殻変動観測によって、能登半島北部地域での地震活動や地殻変動のメカニズムの解明に役立つことが期待されます。

REGMOSの詳細や能登地方の地殻変動については以下のページでご覧いただけます。

<https://www.gsi.go.jp/kidou/regmos.html>

[https://web1.gsi.go.jp/BOUSAI/noto\\_eq\\_kisen.html](https://web1.gsi.go.jp/BOUSAI/noto_eq_kisen.html)

※米国のGPS、日本の準天頂衛星（QZSS）等の衛星測位システムの総称

(測地観測センター、北陸地方測量部、地理地殻活動研究センター)



## UN-GGIM第12回会合への参加報告

国連経済社会理事会（ECOSOC）に設置されている地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UN-GGIM）では、地球規模の政策課題解決に必要な地理空間情報の整備と利活用に関し、議論、調整等が行われています。国土地理院は、2022年8月に国連本部（米・ニューヨーク）で開催されたUN-GGIM第12回会合に我が国代表として参加しました。

今次会合は、8月3日から5日に、3年ぶりに対面形式で開催されました。33の国・地域及び国際機関等から約270名の専門家が参加し、国土地理院からは、大木章一参事官、宮原伐折羅測地部計画課長、小島脩平企画部国際課長が出席しました。



大木共同議長による報告書の発表



各議題への日本からの紹介

災害のための地理空間情報及びサービスの議題では、UN-GGIM 防災作業部会の共同議長を務める大木参事官が同作業部会を代表して報告書の概要について発表を行いました。2022年1月に国土地理院がUN-GGIM 防災作業部会及び国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会（UN-GGIM-AP）と共催した「GNSS 利活用と災害リスク削減に関する地理空間能力開発会議」の開催等、この1年間の防災作業部会の取

り組みについて報告し、加盟国からは肯定的なコメントを得ることができました。

地球規模の地理空間情報管理体制の強化の議題では、議題報告書の中の、2022年7月のECOSOCにおけるUN-GGIMに関する決議の記載内容について、日本の考え方を主張すべく発言を行いました。また、その他の議題においても、UN-GGIMの地域委員会であるUN-GGIM-APへの貢献の重要性や、地球規模の測地基準座標系（GGRF）と地球規模の測地連携拠点（GGCE）に貢献する旨の発言を行いました。

また、8月1日、2日及び第12回会合の合間に、議題に関連するサイドイベント等が開催されました。国土地理院はジャマイカとともに、防災作業部会の共同議長として2つのサイドイベントを主催したほか、UN-GGIM 拡大ビューロー会合への出席、また、UN-GGIM-AP 副会長としてUN-GGIM-AP 会合への出席等、UN-GGIMにおける議論に貢献するとともに、今後の活動に必要な情報収集等を行いました。



防災作業部会共同議長（日本・ジャマイカ）

本会合での会議文書等の情報は下記の国連サイトで公開されており、関連ドキュメントや会議の録画を参照することが可能です。

<https://ggim.un.org/meetings/GGIM-committee/12th-session/>

国土地理院は、引き続きUN-GGIMやUN-GGIM-APに参加し、積極的に国際活動を推進していきます。

（企画部・測地部・地理空間情報部）

## 「測量の日」 関連行事を実施

### 「富山県広域消防防災センタージュニア防災フェスティバル」に参加

北陸地方測量部では、8月11日（山の日）に開催された「富山県広域消防防災センタージュニア防災フェスティバル」（以下、ジュニア防災フェスティバル）に参加し、富山県広域消防防災センター（以下、センター）四季防災館3階で「地図と防災パネル展」を行いました。当日は、約1,800人（四季防災館全体では3,000人超）の方にご来場いただきました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のために十分な対策をとって実施しました。

「ジュニア防災フェスティバル」は、普段見ることができない消防学校の見学や消防車両、消防隊員とのふれあいを通して子どもたちをはじめ、県民にセンターの機能や体験施設を広く紹介することでセンターの利用を促進するとともに、県民に消防を身近に感じてもらい、消防防災意識を啓発することを目的として、富山県と（公財）富山県消防協会が主催で開催しています（北陸地方測量部は、他6団体と共に協力団体として参加）。

新型コロナウイルス感染拡大前までは、ほぼ毎年2回（夏と冬）開催されていましたが、令和4年2月は感染拡大の影響により中止となったため、今回は1年ぶりの開催となりました。

とを知り、大変驚かれるとともに、今後大雨が降ったときには、洪水の被害がある可能性を普段から考えておかなければいけないといった声も聞かれました。



フロアの様子

また、チャレンジコーナーでは、多くの親子連れでにぎわい、常に順番待ちが発生していました。大人でも難しい3D分県パズルを完成できたときの子どもたちの笑顔は、達成感に満ちあふれていました。



四季防災館入り口の立て看板

北陸地方測量部からは、国土地理院の仕事や地理院地図の紹介を中心としたパネル展示、ガリバー地図（概ね5m×3mで印刷された余色立体地図）の床展示のほか、チャレンジコーナー（3D分県パズル、地図7つのちがいがし）を設け、見学者の方々に地図に親しんでいただきました。

展示した「自然災害伝承碑」や「神通川下流付近の地形分類（自然地形）」のパネルでは、昨今の大雨被害の記憶も新しいためか自分が住んでいる地域に多くの旧河道や自然災害伝承碑があるこ



パズルに挑戦

北陸地方測量部では今後とも、地域との関係を大切にし、測量・地図等の普及啓発のため、わかりやすく楽しい展示ができる取り組みを継続してまいります。

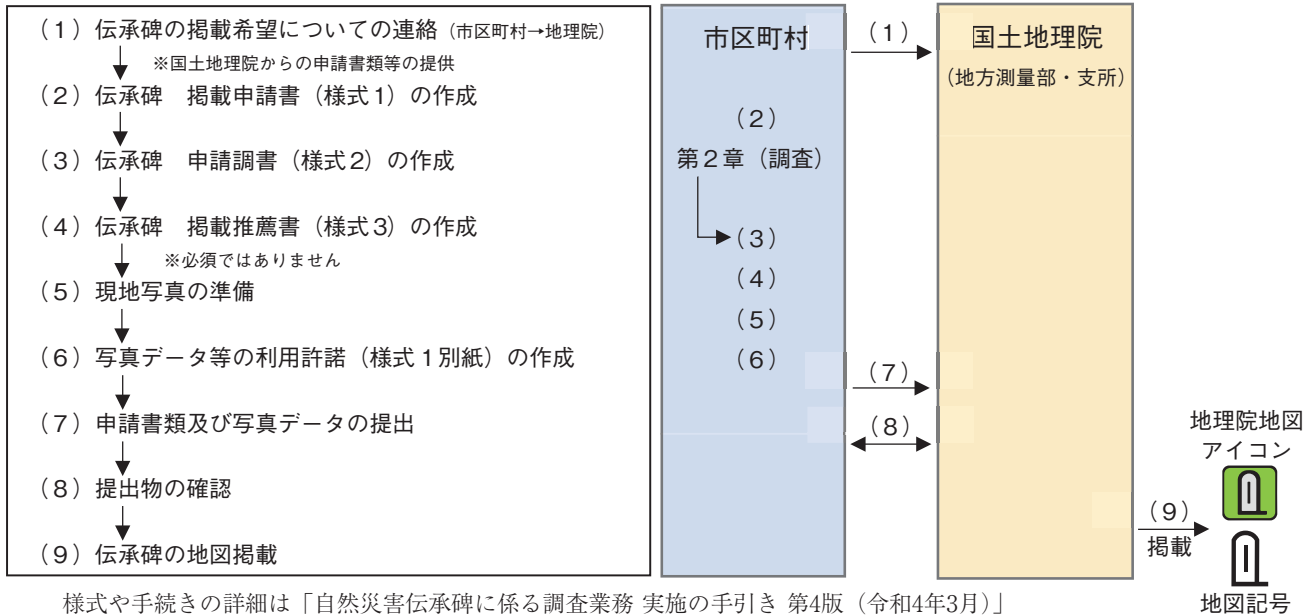
（北陸地方測量部）



47	都道府県	437	市区町村	1498	基
----	------	-----	------	------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ (<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>) をご覧ください。  
 [市区町村の担当者の皆様へ] 自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第4版 (令和4年3月)」  
<https://www.gsi.go.jp/common/000235746.pdf> をご覧ください。

8月の報道発表

8日	令和4年7月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター
23日	国土地理院入札監視委員会議事概要について	総務部
25日	令和5年度 国土地理院関係予算概算要求について	企画部

報道の内容は、国土地理院ホームページ > 2022年 報道発表資料一覧  
<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2022.html> をご覧ください。

10月の主な行事予定

10/18 ~ 12/18	企画展「地図に残る河川改修」
---------------	----------------

行事については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止又は延期となる場合があります。

国土地理院広報は、  
 国土地理院ホームページ > 広報誌 > 国土地理院広報  
<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/> に掲載しています。

---

発行 **国土交通省国土地理院**  
 Geospatial Information Authority of Japan  
 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番  
 TEL 029-864-6255  
 FAX 029-864-6441  
 連絡先：総務部広報広聴室  
 国土地理院ホームページ  
<https://www.gsi.go.jp/>

---